

「老後の資産管理に関する研究会」による手引書の作成と公表について

令和6年7月2日

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構

(<https://www.nensoken.or.jp/>)

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構（東京都港区、理事長高山憲之）は、慶應義塾大学経済学部附属ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センターの委託を受け、昨年9月27日に「老後の資産管理に関する研究会」（座長 慶應義塾大学経済学部附属ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター 山田篤裕教授）を立ち上げてその運営にあたり、研究の成果として手引書「60歳からのチーム作り」が作成されました。

本手引書は本年6月21日のSIP金融包摂・生活経済学会40周年記念シンポジウム他により公表が行われました。

手引書「60歳からのチーム作り」掲載 URL

https://rcfg.keio.ac.jp/pahahul/2025/03/Building_a_team_from_age_60.pdf

本手引書の作成には、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」JPJ012248の研究開発資金が一部充当され、作成・配布が推進されています。

認知機能の低下を経験する高齢者がますます増加している中、老後生活の不安を軽減し、より健やかに安全に地域の中で生活を送るためには、高齢者本人及び家族が認知機能の低下にともなう資産管理の課題に関する正しい知識理解を持ち、外部の専門機関とも早期に連携することが望まれます。

当機構においては、老後の資産管理の重要な課題の調査研究、啓発普及に引き続き貢献できるよう今後とも努めてまいります。

●参考

【作成委員会】

井戸 美枝（ファイナンシャルプランナー）

井上 雄介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師）

駒村 康平（慶應義塾大学 経済学部附属 ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター長）

澤岡 詩野（東海大学健康学部 健康マネジメント学科 准教授）

中嶋 邦夫（ニッセイ基礎研究所 主席研究員）

樋山 雅美（一般社団法人日本意思決定支援推進機構リサーチフェロー／京都府立医科大学）

山田 篤裕（慶應義塾大学経済学部教授）※作成委員会座長

（50音順）

【協力】

一般社団法人日本金融ジェロントロジー協会

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構 ※作成受託機関

【オブザーバー】

厚生労働省